慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	英国労働党の変遷
Sub Title	
Author	河合, 清太郎
Publisher	三田学会
Publication year	1910
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.4, No.3 (1910. 9) ,p.360(114)- 367(121)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19100900-0114

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

英國勞働黨の變遷

河合清太郎

一八六七年以來、英國議會併に地方政治界に於ける、政治思想並に其の行動は、多大の變化を示すに至れり。一八六七年の、第二改正條令にて、小都邑の家屋所有者に、選擧權を與えたるの一事は實に此の變化の端緒にして、先地主階級の勢力を侵し、議會に於る、二大政黨對立を打破する原因となり、更に愛蘭國民黨成立の動機となり、遂に勞働者階級をして、直接代表者を國會に出すを得せしめたり、近く本年一月に行はれたる、總選擧に際し、總議員數六七〇に對し、保守黨及自由黨以外の候補者、百七十二人の多きに上り、內百三十二人は當選の列に加はる事を得たり。

前議會解散當時に、勞働黨は六十一名の下院議員を有し、四個の團體に分たれたり、卽自由勞働派(十五名)及鑛山派(十四名)は、內閣賛成黨と議席を同ふし、自由黨首領の指揮を得け、獨立勞働派(七名)及勞働組合派(二十五名)は、演壇の左方、議場の後部に議席を示め、多くの場合に一個の政黨として、行動を共にし、獨立の指揮者を有せり然るに本年の議會に於ては、自由勞働派は院內の團體たる形式を失ひ、他の三者は合して、所謂勞働黨を組織したり。

新政黨の組織は、總選擧期日確定前既に決定せられたる所にして、其の成功は主として鑛山派の優勢に歸せざる可らず。鑛山派は、過去數年間に著しく發展し、近時にありては、英蘭及蘇格蘭を通じて、凡ての石炭產出地方を其の勢力範圍の內に收め、議員の俸給は鑛業組合の費用を以てし、約六十萬の會員を有す、故に基礎强固にして、勞働者の直接代表者を、下院に出す事他の諸派よりも容易也。加之鑛業條令の施行と共に、鑛山勞働者は法律と接觸する事他の勞働者よりも密接にして、利益關係を知得する事亦適切也、故に必要上一八七四年以來、國會に代表議員を有するを常とし、一八七四——八五年の議會にありては、僅か

に二名の當選者を出したるに過ぎざれど、爾後一八八四——八五年の有權者範圍の擴張は、勞働者階級に好機を與え鑛山派も此時を以て頓に其の優勢を加へたり。

一八七四年より一九一〇年に至る間は、鑛山勞働派議員は自由黨と議席を同ふし、選擧場裡に於ても亦行動を共にしたれども、自ら一個の團體として組織を有し、獨立の領袖を戴けり。然るに本年の始めに、獨立勞働組合派は工業地並に院內に於て、著しく勢力を增し、遂に鑛山派を誘致して茲に一大政黨を組織するに至りぬ。

一九〇八年十月チエスターに開かれたる、鑛山派聯合定期總會にて、勞働黨組織を可決し、一九〇九年自派議員に向て、次期總選擧に、再び當選せん事を欲するものは、勞働黨の綱領に署名する事を要すとの通諜を發したるに、十七名の議員中バート、フェンウイツク及ウイルソンの三名は是を拒絕せり。

バート氏は一八七四年以來、モルペス州、ノーザムバーランド總選擧の選出議員たり、一九〇九年十月三十日同地の選擧人に對し、發表したる前記拒絕の理由は、勞働黨議員は、一議案の提出せらるゝや、一回の討議を經る事なく、政友の命令に從ひ、其の賛否を決する義務を負はざる可らず、之正に代議政體の根本の主意に反す云々と言へり。

フェンウイック氏は、ノーザムバーランド鑛業者より、俸給の支拂を受けたるも、鑛業組合の役員にあらず、バート氏と同じく十月三十日、ワンスベックの選擧民に對し、自己の立脚地を說明して、勞働黨の綱領は、各自の判斷及信念の貫徹を許さず、單に勞働者階級代表者として、選擧人の前に表はれ、且階級的區別を打破せんことを要求す、故に余は代議士としての職を奪はれ、支給の道を杜絕せらるゝも、尙是が署名を爲す事を得ず云々と言へり。兩氏の言明により、同地方鑛業者の間に動搖を引起し、是等二氏の爲に、特に除外例を設くべきや否やに關し衆議二派に分れ、遂に

鑛業集會所に於て、投票の結果により、決する事となり、同地方鑛業者、約三萬人中投票に參加せるもの、二萬三千三百三十九人にして、兩氏の贊成者は此の中僅かに千六百七十八人に過ず。然るに此の結果は十二月十三日及十六日に發表せられモルペス及ワンスベック選擧區に於ては、署名をなしたる候補者公認せられ、バート、フエンスウイック兩氏に對し競爭を開始すべかりしも、選擧期日既に睫眉の間に迫れるを以て、競爭は遂に關始せらるゝに至らず、兩氏は無事當選の榮を擔えり。

ウイルソン氏は、一八九六年以來中部ダーハムの選出議員にして、同地鑛業者の支給を受けたり、氏は署名拒絕の理由を新聞紙上に公表して曰く、勞働黨は自己の認定せる候補者の人格如何に留意せず、之に反對する事を絕對に許さず、且余の如き四十年の長き公生涯を送り來れるものに對し、尙誠心誠意なるべき旨を誓はしむ、如斯は實に忍ぶ能はざる所也、と。而して氏も亦再選するを得たり、故に鑛山派は勞働黨以外に自由黨と結合せる三名の代表者を有する事となれり。鑛山勞働派は其始め自由黨援助の下に立ち、常に侵蝕主義を以て自己の發達を謀れり、一九〇六——一九一〇年の間に行はれたる補缺選擧により、二十九名より三十二名に增員し、一九〇八年の新政黨組織に至るまでは、自由黨は自己の勢力を裂きて其の應援に力を盡し、遂にダービシアイヤ及ノッチングシアイアの二選擧區を、鑛山派の手に移し、結局五個の議席を制與する事となれり。

上院の豫算反對により、議會解散期早められ、勞働は多數の候補者を出すを得ざりしと雖も、一九〇九年十月には百〇二個の選擧區より顯はれ、內五十六個は自由黨の根據地なりしを以て、自由黨の吃驚一方ならず、世人をして兩者の間に何等かの協定和議の成立すべき事を豫想せしめたれど、黨議長ヘンダーソン氏は是を否定して、自由黨との協定は本黨の綱領に反すとなせり。クライネス氏亦是を敷衍して、本黨は如何なる場合にも、自由黨に對する讓步の意味を以て、候補を撤回することなし、只今日の場合、選擧の事突然なるを以て、組織及運動費の點に於て不完全なるを免れず、故に兩黨の爭は保守黨の乘ずる所となり、爲に永年苦心計畫せる各種法令も廢止改正さるゝに至らむか、由々敷大事と云はざる可らず、されば吾人は如斯恐れある場合には候補を撤回するに吝ならずと言へり。是等に先ち勞働黨一機關新聞レエボア、リーダーは論じて曰く、自由黨との競爭は敢て避くるの要なし、假令今日之を避くるも、近き將來に於て、必ず保守自由の提携成立し、吾人を社會主義として迫害する事あるべし、故に今日より、確固たる根據を有し、之に應ずるの用意なかる可らずと。獨立勞働派發意者ハルデー氏も亦此競爭の必要を主張し、其他同主意の意見を發表するもの、益多きを加へたり。

其の勞働黨は、候補者豫定數一〇二名を七八名に減少せり、內獨立勞働派十五、中立黨所屬二、勞働組合派二十七鑛山派二十五（蘇格蘭を除く）に

して、是を選擧區より云へば、英蘭の都邑及工業地選擧區より出づるもの、六十七名、外にグロセスシアイヤの郡部二名及格蘭の工業地及鑛業地より九名也。要するに勞働黨は尙單に英蘭の政黨に過ざるの觀あり。而して更に各區に於ける、他黨候補者との對陣の形勢を見るに、一區一人選出選擧區に出づるもの六十五名にして、內二十七區に於ては、自由黨及及自由統一黨、三十八區に於ては統一黨と鬪はざる可らず。他の十三名は一區二人選出選擧區より出で、內九區に於ては一名の勞働候補者は二名の統一黨及び一名の自由黨候補者を敵とし自由黨と結合して各自一箇を得る事を務めたり。他の四區にありては、各形勢を異にし、自由黨及勞働黨各一名に對し獨立自由黨及統一黨各一名、自由黨及勞働黨各一名に對し獨立自由黨一名及統一黨二名、勞働黨一名に對し自由黨及統一黨各二名及勞働黨自由黨各一名に對し統一黨三名の敵を有したり。故に勞働黨は、自由黨從來の議席の內、十九個に肉迫したる事となれ共、其內

五箇は統一黨の爲に掠められたり。勞働黨は總選舉以前に彼の署名に反對せる三氏を除て、猶四十六箇の議席を有したるに、選舉により三箇の新議席を得て、在來の九箇を奪はれ、殘り四十箇の議席を新議會に有する事となれり。投票數より云へば、一九〇六年の總選舉には、勞働黨は三二三、一九五の投票にて、二十九名の當選者を出せるが、一九一〇年一月には、投票數四九九、〇一一、當選者四十名に上り、議席の減少に關らず、黨の勢力は實質に於て、發展の顯著なる事疑の餘地なし。

勞働黨が在來の議席を失ひたる理由を説明せむに、自由黨と結びロードジョージの豫算案に贊成して、上院に對抗し、チヤムバーレン氏の保護復活政策に、强硬なる反對を試みたるは、最も大なる關係を有するもの也、上院が豫算反對を決議したる後、三日を出でざる一九〇九年十二月三日、國民勞働派は檄を飛して、國民の覺醒を促したり其の大要に「今や上院は下院の苦心に成る豫算案を破毀し、一般國民の租稅負擔額を定め、更に進んで國會解散の期日を決せんとす、果して然らば、國事を決するものは國民にあらずして、貴族也。彼等は自己の階級と、自己の利益とを、代表するものにして、國民に對し、何等の責任なし。故に若し彼等の意嚮に放任せんか、徒らに土地の增收により、私腹を肥さん事のみを計り、國家の工業的方面は犧牲となり重稅の爲に發達を妨られ中等階級及勞働者階級は遂に救ふ可らざる危地に陷らざるを得ず。貴族の暴力を奪ひ、特權を廢するは刻下の急務也。國家の將來を憂ふるものは立て、自ら國事を決し、自己を守らむとするものは來つて我黨の爲に投票せよと叫べり。

鑛山派は、一九八〇年一月五日、六十萬人の會員に宣言書を送り、近時上院の行動は、下院を通過したる共和的性質を負ふ各種の計畫を、打破せんと務むるもの也。故に吾人は、地主及其他の富豪階級の、利益保存の爲のみに存する、專制的權能を廢止せざる可らず、と痛論せり。

獨立勞働派は、勞働黨内の社會主義者七名の應

授として、『上院の要求する所は、國民の自由を否定し、自ら國家財政の全權を收めむと欲するにあり。故に獨立勞働派は寧上院の廢止されむ事を切望す。前首相の如く、是に改良を加えて却て其力を增し、後日の禍を殘すの愚を、學ぶ可らず』と極論せり。

勞働組合派國會委員會も亦、一九〇九年十二月七日宣言書を發表せるが、其の一節に、上院は、未だ曾て自ら進んで、國民全般の利益を進捗したる事なく、頗る無責任にして、弊害の助長、特權維持及改革の遲延等。却つて社會の進歩を阻害す。最早一日も默視するを得ず。今回否定されたる豫算案の如き、明かに三個の得色を有せり、卽支拂能力を基礎とせる課稅、奢侈品に對する增稅及勞働者養老年金の基金增加是也。故に上院の態度は國民の政治的自由を脅かし、國民の代表者を侮辱するものなり、其の罪鞭刑に價す。と罵倒せり。

農業地及小都邑には、尙封建的思想殘存し、上院に對する反對比較的薄弱なりしも、自由主義の最も盛なる、英蘭の北部及蘇格蘭に於ては、上院反對の聲最も高かりしが、此地方は於ては多年の宿望として、貴族と提携せん事を希望し居りしを以て、總選舉に方り、自由黨は意外の逆襲を蒙り大に不利の地に陷り殊に蘇格蘭にては、一九〇六年より十年に至る議會に於ける七十二名の議員中五十名は自由黨員にて優勢なりしに係らず、失敗を招けるは、上院に對する自由黨の反對に依るものと云はざる可らず。是と同一理由により、勞働黨はサンダーランド及ウルバーハムトンに於て、保護主義者の爲に二個の議席を奪はれ、海軍擴張案に反對して、統一黨の爲に、チャザム、ウールウイッヒ及ポーツマウスにて、三個の議席を侵略せられたり。此の事實は頗る興味ある出來事の一つとして數ふるに足るもの也。

猶一個の面白き新現象は、非社會主義協會の活動にして、殊に勞働黨候補者が、社會主義者なる地方にては、勞働黨は大なる影響を蒙れり。此協會の首領は、グレトイースタン鐵道會社議長、ク

ブウド、ハミルトン氏なるが、總選擧前數ヶ月より、倫敦に練習所を設け、非社會主義の辯士を養成し、卒業生を其選擧區に派遣し、盛に遊說をなさしめたり。練習生の數は、九月より十二月に至る迄に、男子四百九十人女子百〇六人の多數を算したり。

社會共和黨は一八八一年以來、既に運動を開始し、現今の勞働費に先立ち、選擧運動に參加せるが、一九一〇年には七名の候補者を擧げ、工業地にて競爭に加はれるも、全々失敗に終り、一名の當選者をも出す事を得ざりき。

保守勞働黨が、名乘りを上げて、本年の總選擧に、六名の候補者を以て競爭に加はりたるは、頗る注目を要する所にして、一九〇九年　補欠選擧に際しバーモンゼイに於て同黨候補者ダムプレイス氏の勝利を得たるを始めとす。此運動は保守共和黨（トーリーデモクラット）の復活に、多大の刺擊を與へたり、卽昨年十一月マンチエスターに、開催せられたる、全國保守黨及憲政黨聯合大會に於て、此運動を是認し、倫敦の一新聞は、公衆より六千磅を募集して、六名の候補者の運動費に提供せり、而して三名は、ライセスター、クリセロエ及ウエスト、モンマウスに出馬して、勞働黨を攻擊し、他の三名はヂユースベリー、ウエストデンビッヒ及スワンジーにて、自由黨の地域を侵したるも、總數に於て六三、七二九票に對する二七、九五五票の小數にて全く失敗に歸し、エポックメーキングとして、世人の注目を受たる、ダムプレース氏の再選も遂に實現さるゝ事なくして止みぬ。

愈議會の招集せらるゝや、勞働黨は、ジヨージバーンス氏を議長に擧げ、法律案の賛否を投票を以て決したるが、主なるものは、勞働組合法改正案、食料品に關する法律の改正案、勞動時間を一週四十八時間に制限する案、鐵道國有案、職業上の爭より、家屋を共有する勞働者が退去せしめらるゝを防ぐ案及度量衡に關する案等なり。

自由勞働派は新議會に於て全々自由黨となり、從て其の名稱も亦消え失せたり。而して新議會以前に於て議員の大部分は既に其跡を止めざるに至れり。彼のバーンス氏は自由黨に入り、ブロードハース、ウイルソン及ベルの三氏團體を去り、クレマー氏は死亡、ステッドマン等の五名は總選擧に失敗せり、抑此の團體は一八七四年に起り、一八八五年迄徐々に發展し、一八八六年の議會には最も優勢にして十五或は十六名の議員を有せり。然るに一八八六年の總選擧に於ては、大に其の數を減じ、一八七四年より一九一〇年に至る間に、三名の議員卽バートブロードハースト及バーンス氏は自由黨に入り、益小數となれり。然れ共本團體が、一八六七年のローヤルコムミッション以前に於て、萬難を冒して勞働組合を成立せしめ、英國現代の政治工業及社會的生活の基礎を確立したる幾多の功勞ある首領を有したるは、永久に忘る可らざる事實なりとす。（終）

（附記）

右はボーリット氏が、コロムビア大學政治學雜誌六月號に一九一〇年に於ける英國勞働黨と題し、起源より筆を起し、今日に至る迄の、變遷及幾多の波亂を詳細に說明したるものを摘譯したるものなり。

新著紹介

柳田國男著　石神問答

日本經濟史研究の副產物として公にせられたるこの小冊子は、外裝も內容も共に頗ぶる氣が利いて居る。而して著者の所見によればオシヤモジサマ卽ちシヤグジは境界鎭守の石神の塞神の神仰に伴ふて傳へられたものであらうと云ふのである。和漢三才圖會飛驒國の條に

明神社　在二益田郡一松森村
俗云志也具之乃宮（シヤグジニノミヤ）　道祖神也

と見え、又駿河新風土記に村の量地の後間竿を埋めて上にシヤグジを祀れりとあるこそ、著者をしてこの結論に達せしめし有力な論據と思はるゝ、之れに付けて思ひ起すのは羅馬のテルミヌス神のことである、テルミヌス神に就てはドモーランの『續大國民』にも下の如く說いて居る

羅馬の農氏は又その耕作地を重んずること甚し